Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2019▸2020

ロータリーは
世界をつなぐ

釧路湿原空撮

Vol.13 ガバナー月信
2020.7.1

Rotary

―― 地区活動方針 ――

「知らずて語れず！」

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
特別寄稿 …… 2
My Rotary登録状況・年次基金寄付状況報告 …… 4
ロータリーは向後どうなるか？ …… 5
Zoomを使ったPETSに関するアンケートの集計結果 …… 11
フェイスシールドの寄贈 …… 13
ピンチをチャンスに …… 15
オンライン懇親会を体験して…… 16
次年度地区研修・協議会、委員会開催報告 …… 17
ハイライトよねやま …… 18
新入会員・寄付者 …… 20
例会出席率及び会員数推移

ガバナーメッセージ

2019−2020年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉　田　潤　司
（釧路ロータリークラブ）

2019－2020年度の私のガバナー年度が終わりました。ありがとうございました。

2018年９月ガバナーエレクト事務所を開き、希望に燃えながら諸準備を進め、釧路クラブの多くの仲間が、私の手となり足となって、私の希望のもと地区組織がスタートしました。年が明け2019年１月国際協議会に出席し重圧と不安を感じたことも事実でした。多くのパストガバナーより、この先未知の楽しい世界があるよと言われ、背伸びすることなくありのままの自分が信念をもって進んでみよう。「よし。その世界を見てみよう。地区のため１年間自分のできることを頑張ろう。」そう思った時それまでの不安も重圧もなくなり心が晴々したことを思い出します。２月から４月にかけて地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会と三大研修をクラブ会員の献身的協力で無事終わることが出来また並行して、ガバナー補佐会議で１年間私を助けてくれる頼もしい８人の侍に出会いほっとしたこと、諮問委員会はじめ多くの会議を行ったことも懐かしい思い出です。広い2500地区の公式訪問では、初めての街を訪れ楽しかったこと、たくさんの友達ができたこと、そして各クラブが真摯にロータリーに取り組んでいることを拝察し頭の下がる思いをし、ロータリーの偉大さと楽しさを知ることが出来たことは、かけがえのない宝物になりました。公式訪問中クラブ会員は、地区大会の準備が大変だったと思います。心を込めて開催すれば、皆さんに楽しんでもらえるという信念のもと釧路クラブ総力を挙げて開催しました地区大会は楽しんでいただけましたでしょうか？諮問委員会、ガバナー補佐会議その他多くの会議を完璧にやっていただいた釧路クラブの会員の能力は凄いもので改めて感謝します。上期最後の行事の松田ガバナーエレクト壮行会も無事終わり、あまりにも順調にすすみ、どこかに落とし穴があるのではと心配もしましたが、まさかまさか新型コロナウイルス騒動が発生し、状況は一転しました。下期すべての行事が延期、中止で、私の手帳の予定も真っ白になってしまいました。ガバナー補佐の最大行事IMの中止は慙愧に堪えませんし、かける言葉もありません。また全国見渡しますと地区大会を開催できなかった同期ガバナーも沢山おり、その心中を思うとすごく胸が痛みます。

私は、そんな中でも三大研修、公式訪問、地区大会と開催することが出来、多くの街を訪ね、楽しみ、たくさんの仲間もでき何より大歓迎されました。本当に幸せ者です。

今こうして振り返ってみて、クラブの仲間に助けられ、素晴らしいガバナー補佐に巡り合い、多くのクラブの会長幹事をはじめ会員皆さんと友達になり、パストガバナーにたくさんご指導を受け、本当に充実した楽しい１年いや１年６ヶ月でした。ガバナーでなければできない経験もたくさんさせていただきました。ロータリーがあればこそ多くの仲間ができました。感謝以外の何物もありません。ありがとうございました。

このご恩をお返ししていくのが私のこれからの使命であり、役割です。

これからのロータリーライフを充実して過ごすことが皆様へのお返しと思います。

７月からは、普通の会員です。「おーい　吉田君元気か？」と声をかけてください。

◆ 特別寄稿 ◆

1年を振り返って

国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉田潤司
（釧路ロータリークラブ）

色々なことがあり、沢山の経験をした充実した1年を私なりに振り返ってみます。

最大の行事の地区大会から振り返ってみます。記念講演講師に尾身茂さんをお呼びしました。長い間WHOで活躍され、特にポリオの権威で、世界的には大変著名な学者です。

尾身さんを知ったとき、ぜひ記念講演講師にとお願いをしました。講演については承諾していただきましたが、忙しいので日帰り講演を希望されましたが、リスクを考慮していただき前泊で来釧していただきました。まさか台風のため欠航となり帰京することが出来ず結局釧路に3泊せざるを得ず大変ご迷惑をおかけしましたが、「自然には勝てないですよ。久しぶりにゆっくり休養できました。」とお話しされてホッとしました。最近のコロナ禍でほとんど毎日テレビでお見掛けしており、お忙しい日を過ごされておりますがますますのご活躍をお祈りします。

地区大会すべてがうまくいきましたが唯一の失敗は、オープニングセレモニーの点鐘で空振りをしてしまったことです。皆様に失笑を買いましたが、温かい拍手をいただきほっとするとともにほろ苦い思い出でとなりました。

地区大会迄に公式訪問を済ませることは、2500地区の暗黙ルールですが、2500地区は広かった。31泊6500㎞の走行は、かなりの強行軍で、さすがの私も訪問残り音別クラブ、釧路西クラブと最後の釧路クラブとなった夜、風邪がこじれ高熱でダウンし、病院に行ったところ先生より「ほぼ肺炎だよ。自宅で安静にしてなさい。」ときつく言われましたが、事情を話しどうしても明日1日は、休むわけにいかないと話し翌日早朝また病院に行き再度点滴を受け、何とか音別クラブ、釧路西クラブを公式訪問することができました。不思議なものでその日の夜は、残り私のクラブだけだと思った時すっかり元気になりました。あの苦しみは何だったのかと不思議な気持ちでした。

公式訪問で多くの友達ができ、訪ねたことのない町にも行き、多くのクラブを拝見し大歓迎されたことは、大きな宝物です。本当にお世話になりました。

2500地区には、明確な地区規則がありません。地区規則・手続委員会を設置し、地区の規則についてできるところから作ろうということで、まず初めにガバナーノミニーの選出方法と規定審議会代表議員選出方法の規則を作り諮問委員会に上程しました。

今年度は、規定審議会地区代表委員の選出期でありその選出規則を作り、同時にRIJYEM地区委員、米山奨学会理事、地区財団委員長等が決まりました。これからもガバナーのもと多くの規則が作られていくと思います。ガバナーノミニー選出については、分区の輪番制による選出規則を作りましたが従来の立候補方式も残すことに決まりました。輪番制からすると、2023－2024ガバナーは、第4，5分区からの選出になります。

年が明けてから、いよいよ各地区大会に参加し楽しもうと思い千葉成田2790地区、神奈川2780地区、沖縄2580地区の各地区大会に参加しましたが、その後のコロナ肺炎騒動で楽しみにしていた多くの地区大会、2500地区内のIM　クラブ周年式典等すべて中止となりました。本当に返す返すも残念です。

地区事務所も2020年5月に細川パストガバナーのご配慮で、正式に帯広合同事務所内にスタートしました。当面は、米山記念奨学会と地区財団関連についてから始め、事務担当として地区会

員増強委員長渡辺喜代美さんに兼務していただきます。渡辺さんは、地区米山委員会経験もありスタート時は手探り状態で事務所を構築することになり大変でしょうが頑張っていただき地区事務所の土台を作っていただきたいと思います。

コロナ騒動で多くの例会も中止となりました。松田エレクトも年度開始前に多くの会議を予定しておりましたが、コロナによる影響を早いうちから予想しWebでの会議を検討しており、順調にWeb会議を行いました。まさにリーダーにふさわしい危機管理でした。

PETS・地区研修協議会をはじめ多くの会議等をWebにて行いました。今回のコロナ騒動で終息後世界が変わると言われておりますが、ロータリーの世界もWeb会議を取り入れる等大きな転換期を迎えることになると思います。

医療従事者が感染するという、あってはならないことに対し34地区ガバナーができることはないかと検討し、各地区でフェイスシールドを贈ろうというプロジェクトがスタートしました。2500地区内14医師会、５歯科医師会に13,320個を寄贈しました。万が一第２、第３のコロナ感染者が発生したとき役立てていただきます。世界でも感染拡大が続いております。DDFを利用し海外にも贈ろうという取り組みも始めました。大きなプロジェクトが始まります。実施は、松田年度になりますが、楽しみなプロジェクトです。

ローターアクトが国際ロータリーの構成団体に正式になりましたことも大きなニュースです。新しい風が吹き始めましたことも特筆すべきことでしょう。

私のガバナー方針は、「知らずて語れず」でした。ロータリーを学び、ロータリーを語り、ロータリーを楽しみそしてロータリーに誇りを持とうと方針を掲げました。ロータリーとは何かという答えは、10人に聞いたら10通り、100人に聞いたら100通りの答えがあります。皆様はそれなりにロータリーとは何かを知っていますのでいまさらロータリーを勉強してくださいとは言いませんが少しだけで十分です。学びましょう。「ガバナー月信」と「ロータリーの友」をパラパラとめくるだけでも十分です。気になった記事をちょっと読むことで少しロータリーを深く知ることになり、同時にせっかくの蓄えていた知識が流出しないですみます。「たばこの吸い殻が、空き缶が、レジ袋が落ちている。みんなで拾おう。」はロータリーではないと思います。私たちはロータリーという人生道場に週１日通っています。どうしたらこれらのものを捨てないようになるかを考え実践することがロータリーです。

次年度RI会長方針では「ロータリーの発展のためには、やみくもに会員数を増やすのではない。会員の質を高めることが大切だ。クオリティーを高めよう。」と述べております。「ロータリーの質の向上、ステータスを高めよう」という方針です。

私たちは、何を求めてロータリーに所属しているのでしょうか？「人はだれもが向上心を持っています。自分をもっと成長させたい。自分の事業を発展させたい。自分の地域をよりよくしたい。多くの親友を得たい。充実した人生を送りたい。世界の人々のために何かをしたい。」多くの皆さんはこのような考えをもって奉仕活動を行い、ロータリーライフを楽しんでおります。公式訪問で多くのクラブを回りました。皆さん四つのテストを愛唱しておりました。私たちは、ロータリアンとしての責任があります。

私たちロータリアンは、多くの人から注目されております。胸のバッジに恥じないように、何か自分の意に反することがあったとき、そっとバッジを触ってください。

また年度終了にあたり、皆様に「四つのテストカード」をご用意しました。

折に触れこのカードに触れてください。きっと心穏やかになると思います。

胸のバッジに誇りを持ち、四つのテストを心のよりどころにしてこれからもぜひ一緒に努力し成長しましょう。

皆様と再会できますことを願っています。一年間本当に、本当に、本当にありがとうございました。

My Rotary登録状況 ・ 年次基金寄付状況報告

本年度も、第2500地区67クラブの年次基金寄付が100%達成できました。ありがとうございます。

分区	クラブ	My Rotary登録状況		年次基金寄付クラブ
		登録率%	地区内順位	
1	礼文	13.33	53	○
	利尻	44.44	5	○
	利尻島	16.67	46	○
	天塩	12.50	55	○
	豊富	19.05	39	○
	稚内	11.63	58	○
	稚内南	8.33	62	○
2	美深	28.00	19	○
	枝幸	3.85	67	○
	名寄	19.35	38	○
	中頓別	33.33	14	○
	士別	27.08	21	○
	下川	16.67	46	○
3	旭川	17.14	45	○
	旭川東	21.21	34	○
	旭川北	34.09	13	○
	旭川南	12.50	55	○
	旭川西	22.00	33	○
	旭川東北	26.67	23	○
	旭川M	91.30	3	○
	旭川空港	38.46	10	○
	美瑛	17.86	42	○
	富良野	36.96	11	○
	上川	10.00	59	○
	Eクラブ	100.00	1	○
4	遠軽	9.09	61	○
	紋別	6.45	65	○
	紋別港	25.00	25	○
	中湧別	18.18	41	○
	興部	13.33	53	○
	雄武	15.38	50	○
	滝上	17.65	43	○

分区	クラブ	My Rotary登録状況		年次基金寄付クラブ
		登録率%	地区内順位	
5	網走	30.77	15	○
	網走西	5.77	66	○
	美幌	6.90	64	○
	北見	16.36	49	○
	北見東	16.67	46	○
	北見西	22.58	30	○
	清里	40.00	8	○
	留辺藥	17.39	44	○
	斜里	22.86	29	○
6	足寄	20.00	36	○
	広尾	19.05	39	○
	上士幌	26.67	23	○
	芽室	7.41	63	○
	帯広	36.26	12	○
	帯広北	27.69	20	○
	帯広西	19.74	37	○
	帯広東	13.51	51	○
	帯広南	40.28	7	○
	音更	28.57	18	○
	清水	22.22	31	○
7	釧路	43.00	6	○
	釧路東	20.59	35	○
	釧路北	26.92	22	○
	釧路南	30.00	16	○
	釧路西	29.63	17	○
	釧路ベイ	100.00	1	○
	音別	25.00	25	○
	白糠	50.00	4	○
8	厚岸	23.53	28	○
	別海	11.76	57	○
	浜中	25.00	25	○
	中標津	9.52	60	○
	根室	13.51	51	○
	根室西	39.62	9	○
	弟子屈	22.22	31	○

（記載の記録は６月17日時点でMy Rotaryに反映されているものです）

ロータリー(例会､ローターアクト等)は向後どうなるか？

地区研修委員会
委員 **足 立 功 一**
(パストガバナー：釧路北ロータリークラブ)

◆ガバナー月信担当委員からの依頼
新型コロナウイルスのため例会が休会となる事態が発生し、諸行事が全く開催できない事態となりました。この様な事態で研修委員のお立場でどの様にお考えかをお聞かせ下さい

昨年11月末に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID－19）は、世界各国に飛び火し、多くの死者を出していまだ収束の兆しが見えません。

日本国内では１月頃からこのことが少し話題になってきましたが、当初はインフルエンザより感染力が弱いだろう、致死率も高くないだろうと高を括っていました。しかし、札幌雪祭りに多くの中国人が訪れたのを契機に、北海道では第一波の感染が起こりパンデミック状態になりました。そして今は、第二波を経験して道内でも多くの人が亡くなっています。

国内では北海道が２月28日に単独で緊急事態宣言を発出したのに続き、４月７日には東京など５都道府県への緊急事態宣言が発出されました。不要不急の外出は禁止され、公共交通機関が止まり、自宅でのテレワークが奨励され、多くのレストランや飲食店が休業し、百貨店、遊技場、浴場、ホテル等様々な業種の方に営業自粛が出されました。

しかし、この間の国民の皆様の献身と自粛の成果が出て、５月25日宣言発出から僅か１か月半で全面解除になりました。発生源の武漢市のロックダウンは77日間にも及んだことを考えると、かなり早期に解除されたことになります。その後、４月20日から出されていた道の休業要請も６月１日に解除されました。

特筆すべきは、この間の人口100万人あたりの死者数ですが、日本は6.4でしたが、アメリカは292、イタリアは562、スペインは613、イギリスは540と各国に比較してはるかに低い数値で抑えられています。これは国民の献身と医療従事者の努力が実を結んだことを表しています。

緊急事態宣言が発出された前後の約３か月間、全く身動きが取れないことでロータリーの例会は休会、奉仕活動も中止せざるを得ない状況となりましたが、このような事は、第二次世界大戦時に、日本国中のクラブが解散させられた時以来の出来事かと思います。国際ロータリーからは、当初すべてのロータリー活動は中止すると発表されました。その後しばらくしてWebを利用しての会議が奨励されました。

「さー、困りました。」 E－クラブ以外はそのノウハウをもっていないのです。私たちは当初

どうすることもできませんでした。ネットワーク環境の構築には、①ユーザーを取り巻く環境、②技術者を取り巻く環境の両方の整備が必要であり、多額の費用が掛かります。また、モバイルサービスは約10年周期で新しい技術を必要とするので、ネット産業はラットイヤーと言われています。それだけ進歩が速いのです。Face to Faceに拘っていたばかりにこのような事が起こった時の準備が全くできていなかったのです。まさにイソップ物語で語られる「アリとキリギリス」の例えになってしまいました。

2500地区でも、地区研修セミナー、PETS, 地区研修協議会を控えて、どのように開催するかですったもんだが続きました。しかし、さすが行動力のある松田ガバナーエレクト、すぐにクラブで話し合ってZoomと言う方法を選択してきました。

Zoom会議立ち上げの際、中心となった田中氏はじめ皆様その準備に大変だったと思います。しかし、日ごろ仕事でパソコンを使っているロータリアンが多かった為か意外とスムーズにいきました。

さて、私たちは「ロータリーの例会の基本はface to face」会員は例会に出席してお互い顔を合わせて話し合い、そこから自分の仕事に役立つ情報を得る、地域に貢献できる活動を見つける事であると、入会した時から諸先輩に口を酸っぱくして教えられてきました。そして、私も最近までそのように考えてきました。

確かに相手の顔を見ないでメールの文字だけで言葉の内容を判断すると時に大きな落とし穴に陥ることになります。メールでは美辞麗句が並んでいたとしても、相手の考えは裏腹であることは多々あります。または意見に反論する際の言葉の使い方によっては、相手を傷つけてしまう事さえあるのですから要注意です。その人の考えていることは、必ず表情に出るものです。言葉の内容と強さ、顔の表情、態度などの微妙なニュアンスがメールでは読み取れないのです。そして親睦を深めるにはやはり直接会って話し合わなければ心が通じないと考えている方はたくさんいらっしゃると思います。

そのため、Eクラブが設立された当初、日本中のほとんどの会員はその設立に反対しました。例会がface to faceではないからです。

しかし、今はどうでしょう。2016年の規定審議会で釧路クラブから出されたE－クラブを普通のクラブとして認める（E－クラブと言う名前は使える）と言う提案は、私が規定審議会の2500地区代表議員としてシカゴでプレゼンテーションを行い、代議員の承認を得ることができました。その結果、今ではE－クラブはロータリーで特別扱いされていません。私の個人的な考えですが、ロータリーの会員増強に一番寄与したクラブはE－クラブだと思います。全世界で270クラブ、日本では12クラブにまで増えました。当然、今回のコロナウイルス騒ぎの中でも冷静に例会を遂行していると思います。

RIから突然Web会議を推奨すると言われても、その準備ができていなければすぐにはできません。

各クラブにはWebで例会を開催するための機器やノウハウが十分に準備されていない（自宅にWi－Fiを設置、スマホやパソコンを準備）事や、経費の面からも検討が必要であり、スマホ、パソコンを持っていない会員の救済をどうするかと言う問題が出てきます。そのため実際にWeb会議を開催している2500地区内のクラブは現在数クラブ程度であります。

私の所属する釧路北ロータリークラブでは、このような事態に陥ってもただ黙って手を拱いておりませんでした。坂入会長、 迫田幹事は素早い行動を起こし、会員でパソコンに精通している中島仁美会員と共に地区で開催しているZoomを使った会議を企画しました。若い会員のほとんどがスマホを持っていますので、持っていない会員には、Zoomをコントロールしている会場に来ていただく、またはスマホを持っている会員同士集まってもらって例会を行っています。

そして、パソコンやスマホを使っての会議が可能になったことで、大きな変化が生まれました。それは、俺たちは今まで忙しい昼の時間を割いて例会場に集まっていたけれど、時間のない時はWebで参加できるのではないかと考えるようになりました。

そうすると会員は例会参加に様々な選択肢を持つことが可能になり、出席率も上がります。今まで日本人は、何ごとを決めるにも皆で集まって同意を得ることで安心感と一体感を担保してきました。しかし、今は遠隔地にいてもパソコンで顔を見ながら簡単に会議に参加できるようになりました。実際Web会議を行ってみると例会参加にはまったく違和感はありませんでした。一流企業ではこのWebを使った会議は日常茶飯事に行われていると思います。しかし吃驚したのは、文科省があれだけ資金を投入してインターネットを使用した授業を行う準備をしていたと思っていましたが、いざ蓋を開けてみると日本国中の公立学校では全く機能しなかったという事実です。

先進諸国31か国の中で数学、理科、国語各教科でのインターネット授業が可能な国をその優劣で比較すると日本はなんとすべて最下位であったのです。私的なことで申し訳ありませんが、私の孫が住んでいるフランスでは３歳から義務教育が行われ、５歳の孫は毎日インターネットで授業を受けているのです。幼稚園生です。

またアメリカでも、オバマ大統領の時にこれからの時代はインターネットをすべての学校、国民にいきわたらせるという政策を推し進め、多額の費用をかけて国民すべてにパソコンを準備したとのことでした。今から愚痴を言っても始まりませんが、日本の将来を担う子供たち、学生たちの為になぜもっと早く準備ができなかったのかと思いますが、悲しい現実です。

この教訓をもとに、私は日本のロータリーでもRIが推奨するように、インターネットを利用した例会、会議を行えるようにすることを真剣に考える時が来たと考えます

この新型コロナウイルス感染は、ロータリアンに様々な問題を提起しました。日本はまさにガラパゴスであったという現実、緊急時の例会の在り方、インターネットを使った奉仕活動の在り方、人口密集地に住むことの不自由さと怖さ、自分の仕事の将来的な形態等、災害大国日本だからこそ周到な準備が必要であると思います。日本で最初にスマホやインターネットで情報の拡散が起こったのは、1995年１月17日に発生した阪神・淡路大震災の時です。このようにいつ起こるとも知れない災害の多発国である日本だからこそ、その準備は必要であると思います。

その一方、通勤しないテレワークの普及は、若い人たちに新たな考え方を生み出しました。果たして高い借家賃を払って本社を都市部に確保する必要があるのだろうか、職員すべてが自宅で仕事をすることの方が効率的ではないかという事実です。

世界は私たちの先を行っています。それについていかなければますます時代にとりのこされてしまいます。

それでは、私たちに今求められている例会の在り方とはどのようなものでしょうか。創立以来

100年を経過したロータリーの従来からのクラブ運営をただ踏襲していくことでしょうか、そうではないと思います。今こそＩＴ技術の進歩した未来社会でのロータリーのあり方を考えて、変革していかなければならないのです。

そのためには、皆さんが今住んでいるこの社会の現実を、よくご覧になっていただきたいと思います。今からわずか８年前、コダックという17万人の社員を有し、全世界の写真用紙の85％を販売していた世界的メーカーが、わずか数年でそのビジネスモ デルが消えて破産しました。 そして、その企業に携わっていた多くの人々が、そのことが起こることを全く知りませんでした。このことは、この10年以内に多くの業界で起こる可能性があります。

医療健康産業、自動車、教育、農業など、あらゆる分野で起こるでしょう。これから10年以内に、伝統的な産業の90％はなくなると考えられています。

ウーバーというアメリカのタクシー会社は世界最大ですが、車は一台も保有していません。ウェブサイトと配車アプリがあるだけです。また、エアビーアンドビーは世界最大のホテル会社ですが、ホテルを所有していません。アメリカの若い弁護士は今、就職の当てがありません。それはＩＢＭのワトソンのお陰で、人間が法的な助言を行った場合70％の精度であるものが、ワトソンを使うと90％の精度で、しかも数秒で法的助言を得ることができるからだと言われています。また、医療の世界でも、ＣＴやＸ線の解析力は人間が行うより、ワトソンが行った方が正確で精度が高いことが実証されています。

そして、コンピューターによる顔認証によりセキュリティーの精度は上がり、キャッシュレス時代の到来は、今や韓国、中国、スウェーデンでは現金で物が買えない時代になってきました。自動車運転技術、ＡＩが完成しますと、その結果ただ単に自分で運転しなくてもよいという問題ではなく、免許の取得が必要なくなるということになります。2022年には、車を所有する必要がなくなるとまで言われています。車が必要になった時は 携帯で呼び出して運転させればよいわけですから、都市部では90％の車を減らして駐車スペースは公園になり、６万マイルに１回の割で交通事故を起こしているものがそれを600万マイルに１回に減らして、毎年100万人の命を救うことになると考えられています。そうなれば、自動車会社は破産するでしょうし、自動車関連の保険ビジネスは消えていくでしょう。

このように、未来に起こりうるさまざまな状況を考えますと、ロータリーは将来どのような形態をとるべきなのか、奉仕活動はどうあるべきなのかを、今からしっかり考えていく必要があります。

話は変わりますが、有ろうことかこの時にローターアクトにも大きな変革の時が訪れました。それは2019年の規定審議会で、ローターアクトを国際ロータリーの会員にするという案が可決されたのであります。これに関してマーク・ダニエル・マロ―ニ会長はその意義を縷々述べましたが、最後に「しかし、何よりも大事なのは会員増強です」と声高に叫びました。

2016年の規定審議会で、アクトが希望すればロータリアンになれるという制定案を承認したわけですが、実際には全世界29万人のアクトのほとんどはロータリアンにはなりませんでした。

このような事実から、いっそローターアクトそのもの自体を国際ロータリーの会員にしてしまえば、一挙に30万人の会員増強は達成できると考えたことは明白です。

過去ローターアクトクラブは、青少年の育成において将来有用であるとの判断から世界中で設

立されたわけですが、道内で初めて結成されたのが釧路北ローターアクトクラブです。結成当時私たちの先輩は、釧路北ローターアクトクラブの活動理念を３つ提唱しました。

① 釧路北ローターアクトは職場青年層による奉仕クラブである。まず、「奉仕」そのものについて互いに研究し、勉強するクラブである。従って直接社会奉仕を目的とする団体ではない。

② 次に奉仕についての研究はまず手始めとして、良き職業人になる事を心掛ける事から出発する。その為、自分たちの勤め先の人たちばかりではなく、進んで他の業種或いは他の会社へ勤務する人々とも広く知合いを持つこと。
その人達とグループ活動をする中で互いに奉仕し、啓発され、良き職業人、良き社会人となる機会が与えられ、良きリーダーとなる資質を身に付ける。

③ 各職場から選ばれた代表として、自分個人は勿論の事、自己の職業についての誇りと権威を持ち、他人についてもこれを充分に尊重し、会員皆がこれを高めることは職業人として大切な事である。それによって得た高い理念や意識に基づいて日常業務を遂行する時こそ、その個人と企業が地域社会に役立つ何よりの奉仕となる。

この３つの社是とも言うべき理念は、当時の釧路北ロータリアンが考えていたロータリー活動の本質を表したものであり、自分の職業を品位あらしめ、良き社会人として皆から尊敬されるような人間形成を目指すというロータリーの本質をアクトにも求めたわけであります。

決して、奉仕活動をするために派手なパフォーマンスをすることが、ロータリーの奉仕活動ではないと言っているのであります。

実際、彼らは毎週の例会で、どうしたら強いリーダーシップを学ぶことができるか、一緒に学びあえる多くの仲間を作る、ロータリアン企業の代表からビジネスマンとして、企業人として仕事に対する姿勢を如何に学ぶか、自分の会社以外の人間関係の中から、自分の会社に持ち帰る事ができるスキルをどうやって身に付けるかを真剣に夜遅くまで、アクト全員で話し合っていたのです。

さて、ローターアクトが国際ロータリーの一員になるという事は、さまざまな問題が発生します。まず、ロータリー章典の常設プログラムからローターアクトを外し、新たに第２章にローターアクトを加える必要があります。（これに関してRI理事会は、2020年７月１日より、「ロータリー章典」第２章「クラブ」に第12条「ローターアクトクラブ」が追加されました。現在、第５章「プログラム」部分の41.040.項にあるローターアクトに関連する方針は、2020年７月１日以降削除されます。）

方針に関する変更事項に基づき、「標準ローターアクトクラブ定款」ならびに「推奨ローターアクトクラブ細則」が改定されます。また、すべての地区委員会にローターアクターを加えることがロータリー地区に奨励されます。

そして、ロータリーの青少年保護の規定からこれを一部外すのかどうか、また、危機管理の内容も当然変更せざるを得ません。

その他に、アクトクラブは国際ロータリーの定款に従う義務が生じます。アクトはロータリアンと同等の責任を負う必要が生じてまいります。この責任と義務をアクトがはたして果たす覚悟

があるかどうかであります。その他に、年齢の上限撤廃が起こります。今までは30歳で卒業しましたが、ローターアクトクラブは今後も、若年層の社会人を対象とします。ローターアクトの会員年齢の上限を取り除くことで、会員は年齢に関係なく自分が望むクラブ体験を選べるようになります。

この年齢制限に関しては、クラブが会員とスポンサークラブから同意を得ていることを条件にアクトクラブは年齢の上限を独自に定めることができるとされていますが、実際には年齢制限はなくなりました。

もう一つは、入会金、会費（人頭分担金や地区賦課金）を同じように徴収して良いかと言う問題であります。人頭分担金に関しては、RI理事会で2020年７月１日より大学を基盤とするアクトには５ドル、地域社会を基盤とするアクトには８ドル、また新しいアクトクラブが支払う50ドルの認定料は2022年７月から廃止になります。しかし、地区賦課金はどうでしょうか？同じように徴収するのでしょうか？
地区内ほとんどのアクトクラブは、自己資金では運営できておりません。それをどのように取り扱うのか？更なる問題を抱えることになりました。

とにかく、会員増強のためにアクトをロータリアンにするというRIの考えには少し無理があると思います。しかしアクトの将来を考えますと、ロータリアンと一緒に活動することで、彼らのさらなる成長に繋がればそれに越したことはないわけですから、私たちは指導の仕方を再検討しなければなりません。

世界は今、自国ファースト、一国主義を唱えて対立を続けていますが、経済や情報はSNSを使ってグローバル化しています。それが故にその社会の変革に合わせてロータリーも変わっていかなくてはならないのです。

今私たちは自分達の地域だけの状況を見るのではなく、広く世界の状況を考えながら、地域で行動していかなければならなくなりました。

皆様と地域や世界で起こっている様々な問題を共有し、それを民間レベルで解決していく。その気力と行動力が社会を良くするわけですから、決して傍観者にはならないで、自分たちの考えで自主的に行動することが大切です。

今日から各クラブは、RIから与えられたさまざまな手法を駆使して、自分のクラブの歴史や伝統を維持した新しい例会の在り方を模索してほしいと願います。皆さんがロータリーライフを満喫されることを願っております。

最後に、釧路北クラブのWebによるクラブ協議会で、親睦委員長の多田洋平君の活動報告の際、彼は微笑みながら「やっぱりWebだとパワーが出ないっす」と発言したことに私は笑ってしまいました。

Zoomを使ったPETSに関するアンケートの集計結果

国際ロータリー第2500地区
ガバナーエレクト **松　田　英　郎**
（富良野ロータリークラブ）

＜目的及び方法＞

2500地区では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、３月７-８日(土.日曜日)の地区チーム研修セミナー、PETSを初めての試みとしてオンラインツール(Zoomミーティング)を用いて開催した。

ロータリアンの健康と安全を最優先し現地集合の会合を変更し、Zoomを使い、計画から実施まで約10日間の短期間での対応となった。

地区チーム研修セミナーは地区研修委員とガバナー補佐、地区委員長のうち４名を除き出席となり、PETSは、2500地区の67クラブ中53クラブ(79.1%)の会長エレクトが参加した。一方通行の情報発信(パネル形式、講義形式)であるため今後の進め方の参考にするためアンケートを実施した。また、この度PETSと地区研修・協議会が別日程で開催した事についても意見を聞いた。

67クラブにPETSのDVDと共にアンケートを行ったところ、41クラブ59名の回答が得られた。アンケート結果と今後の問題点についてまとめたので、報告します。

＜設問並びに結果＞

設問１．この度のZoom会合の印象について伺います(複数回答可)

１．視聴は問題なかった　44名　74.5%
２．便利なので続けて欲しい　36名　61.0%
３．ネット、パソコンなどの環境が整えば参加したい　7名
４．会議の内容を限ってするべきである(緊急の場合など)　16名　27.1%
５．遠方の方(離島)に限って、ネットでの参加があった方が良い　13名　22.0%
６．全く使い物にならなかった　0名
７．必要はない　0名

設問２．Zoom会議について参加できなかった理由についてお伺い致します。(複数選択可)

１．パソコン、インターネットはあるが設定が面倒だから　設定が困難だから　5名
２．スマートフォンが無い　5名
３．パソコンがない　0名
４．パソコンはあるが、インターネット環境がない　3名
５．日程が合わず参加できなかった　5名

設問３．どうすればインターネット会議に参加できますか？

１．参加するつもりがないので答えない　0名

その他の意見

・(ネット操作で)会社の職員をその時間帯に貼り付けておくのは難しい
・ウエブカメラがないので参加できない
・インターネット環境の整備が必要
・高齢なので操作が難しい

設問４．PETS 地区研修・協議会の日程について

・同時期開催　10名

・別日程がよい　10名

その他の意見

・PETSは早い時期でよかった
・PETSはZoomで地区研修協議会は現地で行った方が良い
・両方ともZoomでよい

以上の結果から、視聴されたメンバーにおいて使い物にならない、必要でない方はいなかった。視聴されなかったクラブの14クラブの内７クラブ(50%)が環境が整えば参加したいと回答した。使い方としては緊急など(今回の事情を含めて)の会議(27.1%)に用いるや、遠方などの地理的要因に限るとのご意見が22.0%寄せられた。ただ、この手法を続けて欲しいとの意見もあり、さらに、直接会っての会合の際にもオンラインでの参加ができる方法も併せて行って欲しいとの要望もあった。

参加できなかった方の意見としては、パソコン、インターネットの環境の不備、スマートフォンを所持していない等のハードの面と、設定の難度を訴える方がいた。

また、日程が合わなくて参加できなかったクラブが５クラブあった。

どうすれば、ネット会議に参加できるかを聞いた設問では、参加するつもりはないという意見はなかった。

＜考察＞

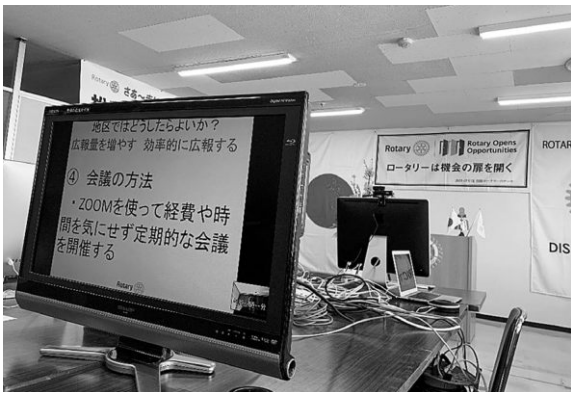
今回の試みはロータリーの重要な研修会議におけるオンライン会議のツールとしてZoomミーティングの有用性を示したものであり、比較的導入は簡単でなおかつ安価で(リワードプログラムでZoom費用の20%割引)、都合がつかず参加できなかった５クラブを仮に参加者に含めると、67クラブ中58クラブ86.5%の参加率で、「Zoomミーティング」を理解して各クラブ会長エレクトの前向きな取り組みのおかげであり、想定よりはるかに多くの方の出席が可能であった。

PETSは会長エレクトにとって必須の研修のため、地区として開催する義務がある。各地区ではガバナーエレクトや研修委員のビデオ撮りをしてDVD配布、you tubeでの発信、文書のFAX発信、電話対応など様々な手段で研修会を実施しているが、それに比べオンラインツールのによる方がはるかに簡便であると思われた。

但し、インターネット環境、パソコン、タブレット端末、スマートフォンなどの周辺機器を含めた準備が必要であり、参加困難なクラブも存在するのも事実である。また、顔を合わせるロータリーの会合が基本であり、生の声、会場に集まるといった絆や結束力はロータリーにとって会議以上といってもよいほど重要な部分とも言える。すなわち、すべての会議が便利であるというだけで置き換わるものではないと考えられる。新型コロナ感染症禍のみならず、遠方、悪路で欠席が余儀なくされる会員の参加には、集まっての会合とオンライン参加のハイブリッド開催も考慮する必要があると思われた。

PETS 地区研修・協議会の日程が分かれたことについてはほぼ同数の賛否であり、今後、RIの方針に従い地区がスケジュールを決めていくのがよいと考える。

RIでは2020年中の集まっての会合はロータリアンの健康と安全を優先し、オンラインでの開催を推奨した。今後の会合の進め方は否応でもインターネットに依存することが予想されるので会員の皆さんにはクラブとしてロータリアンとして情報取得の一つの手段として、ネット環境整備されることをお願いして締めくくりたい。



追：Zoomミーティング導入に関しは、当院放射線技師の田中知樹、2500地区ガバナーエレクト事務所職員田中ゆう子夫妻に尽力頂いている事を付け加え、この場を借りて感謝します。

地区内医師会ならびに歯科医師会 フェイスシールドの寄贈について

国際ロータリー第2500地区
ガバナー 吉 田 潤 司
地区幹事 木 下 正 明

日頃より当会の活動に際しまして、ご理解・ご協力たまわりまして誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症も日本国全員一丸の努力によりいったん落ち着きをみせておりますが、経済活動の再開と感染の再拡大との綱引きはまだまだ続くことが予想されます。

今後の二次感染拡大による医療崩壊を防ぐためにも、それに備えた医療器具充実が望まれるのが現状です。医療現場でも医療器具不足による脆弱な感染予防の中、それにより医療関係者が感染しクラスターを形成した例が数多くあったという事例を鑑み、日本ロータリー国内34地区のガバナー（代表者）の間でロータリーとして何か活動できないかと模索したところ2760地区（愛知）の尽力により、ロータリーロゴマーク入り医療用フェイスシールドを安価に製作できることとなり、全国で医療用フェイスシールド寄贈事業を行うこととなりました。

当2500地区（概ね北海道を稚内から襟裳岬を結んだ線の東側の地区で、地区内には67のロータリークラブと約2300名の会員が在籍）も北海道医師会、同歯科医師会と相談させていただき2500地区内のすべての医師会ならびに歯科医師会にフェイスシールドを寄贈させていただくことと致しました。

2500地区の事業内容は以下の通りです。

寄贈数　：　合計13,320個
寄贈日　：　５月下旬～６月上旬予定
寄贈先　：　【医　師　会】旭川市・富良野・上川郡中央・上川北部・宗谷・北見・紋別
遠軽・美幌・網走・帯広市・十勝・釧路市・根室市外三郡
【歯科医師会】旭川・北見・十勝・釧路・稚内

その後の配布先等はそれぞれの医師会・司会医師会に委ねることになっております。数量は域内人口等を考慮し決めております。

また、各地域において贈呈式を行うことも検討いたしましたが、情勢を鑑みガバナー事務所から各寄贈先へ直送致しますが、ガバナーを輩出しております釧路においては北海道の半分を占める2500地区を代表して釧路市医師会・釧路市歯科医師会への贈呈式を以下のように執り行いました。

記

日　時 ： 令和２年６月４日（木）午後１時30分より20分程度
場　所 ： 釧路市医師会会議室　〒085－0831 釧路市住吉２丁目12番37号
ＴＥＬ　0154－41－3626　　ＦＡＸ　0154－41－1116
med.ksr@kushiro-ishikai.or.jp
寄贈数 ： 13,320個
その他 ： 寄贈先と各寄贈個数は別紙参照のこと

国際ロータリー第2500地区　フェイスシールド寄贈事業

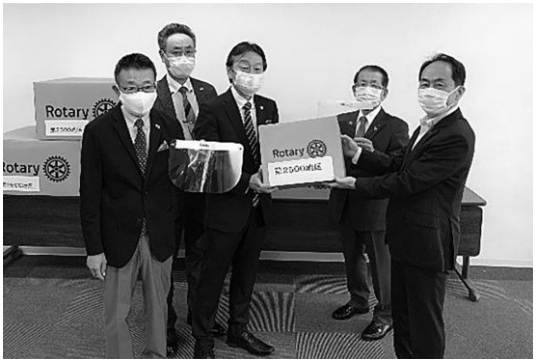
【数量】

		大ケース	中ケース	小ケース	計
北海道医師会					
道北ブロック	旭川市医師会（旭川市）	960	480		1,440
	深川医師会（深川市）	2510地区			0
	富良野医師会（富良野市）	960			960
	上川郡中央医師会（美瑛町）		480		480
	上川北部医師会（名寄市）		480		480
	留萌医師会（留萌市）	2510地区			0
	宗谷医師会（稚内市）		480		480
北見ブロック	北見医師会（北見市）	960	480		1,440
	紋別医師会（紋別市）		480		480
	遠軽医師会（遠軽町）		480		480
	美幌医師会（美幌町）		480		480
	網走医師会（網走市）		480		480
道東ブロック	帯広市医師会（帯広市）	960	480		1,440
	十勝医師会（帯広市）		480		480
	釧路市医師会（釧路市）	960	480		1,440
	根室市外三郡（根室市）		480		480
	ケース数	5ケース	13ケース		18ケース
	個数	4,800	6,240	0	11,040

北海道歯科医師会	旭川歯科医師会（旭川市）		480	120	600
	北見歯科医師会（北見市）		480		480
	十勝歯科医師会（帯広市）		480	120	600
	釧路歯科医師会（釧路市）		480		480
	稚内歯科医師会（稚内市）			120	120
	ケース数		4ケース	3ケース	7ケース
	個数	0	1,920	360	2,280

		大ケース	中ケース	小ケース	計
合計	ケース数	5ケース	17ケース	3ケース	25ケース
	個数	4,800	8,160	360	13,320

釧路市医師会　柴田香織副会長（左）へ
山口修二釧路総合振興局長（右）を通じて寄贈



釧路歯科医師会　岡田実継会長（左から3番目）
他役員の皆さんへ寄贈

釧路市医師会、釧路歯科医師会の皆さんへ寄贈

ピンチをチャンスに
（ロータリーの素晴らしさを再確認して）

国際ロータリー第2500地区
ガバナーノミニー **漆　崎　　隆**
（釧路ベイロータリークラブ）

今、世界中が　新型コロナウイルスに翻弄されています。人類はその感染に恐怖を覚え、あらゆる機能が自粛、停滞しています。日々の活動の滞りと共に経済活動も大きな痛手を受けています。勿論、我がロータリー活動も　その中にあります。

こんな時こそ、もう一度　ロータリーの原点を思い起こし、先人たちの心意気、「ロータリーの心臓」について、思いを巡らして、この事態に対して、来るべき時のエネルギーにしたいと思います。

さまざまな人々が生きるには、大きなニーズがあって、そのニーズに応えるために、人道的運動が誕生します。こうした運動を成功させるには、明確な使命感と達成方法が必要です。フランスのアルバート・シュバイツアーは、ノーベル平和賞受賞者であり、医師であり、ロータリアンでもありますが、次の様な所感を述べています。

「国際ロータリーのようなボランティア運動は、人格の陶冶、人間としての品位の育成に不可欠である。」と。

「大きな政治的連合体のほかに、何もないとしたら、私たちの現在置かれている世界情勢において大きな試練を切り抜ける見込みはありません」さらに、シュバイツアー博士は　1960年にロータリアン誌に次の様に書いています。「私は友人のアインシュタインと共に人類の将来を憂慮しつつ生きてきました。アインシュタインは私の永年にわたる友人で、偉大なる運動を待ち望んでいたことを私はよく知っています。そして、今、この運動が、皆様の連合体であるロータリーやその他に結実したのです…」

ロータリーとその使命とは、一体何でしょうか？国際ロータリー理事会の書き記している実際的な定義は次の通りです：「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と。

ロータリーは、200以上の国家と地域において35,000以上のロータリークラブに約120万人の男女会員を擁します。その多様性は、国連に匹敵します。ロータリーは国連と協力して来た長い歴史があります。日本の各都市、東京；米国中の各都市、ネブラスカ州の平原；ブラジルの国際都市、リオデジャネイロ；スコットランドのハイランド；熱帯のナイジェリア；トルコのイスタンブールなどなど、多種多様な地域社会で、ロータリアンが生活し、働き、奉仕しています。そうして、ロータリーの標語、「超我の奉仕」を遂行しようという熱意の下に結ばれています。

ロータリーは、人種、宗教、政治的信念を異にする人々を友好的、公平、民主的な雰囲気の中に包み込みます。この親睦の絆が、他者に奉仕する出発点となり、個人、職業、地域社会の生活においてロータリアンに充足感を与えます。 インドの詩人のラビンドラナート・タゴールはこう書いています。「眠りにつくとき、幸福な人生を夢見た。目覚めた時、人生は奉仕だと知った。奉仕してみて、幸福は奉仕にあると知った」

先人たちの想いや行動が、いくつもの災害や、大きな出来事を、２度の世界大戦をも乗り越えて今日に至っています。今回のコロナウイルスでは、いち早く、2500地区として、医療従事者支援を行っています。地区内の全医師会・歯科医師会へ１万３千個余りのフェースシールドを届けました。「地区の皆様の為に、頑張ってくださり、ありがとうございます」と。これから、様々な形で支援活動が各クラブのロータリアンの手で、実施されると思います。コロナもポリオの様に必ず打ち勝つ日が来るでしょう。その日の為に、地球上の全てのロータリアンが立ち向かいたいものです。人々が幸福な人生と感ずる一助となる為に。

オンライン懇親会を体験して

釧路ロータリークラブ
幹　事　松　井　聖　治

コロナウイルスの感染拡大の影響により各地で、実際に集まっての例会や集会を実施できない中、釧路ロータリークラブとしても初めて、「ガバナー招集のオンライン懇親会」と銘打って、Zoom会議を開催しました。

小船井パストガバナーにホストをしていただき、開催メンバーは、吉田ガバナー、小船井パストガバナー、木下地区幹事、工藤次年度GA幹事、伊貝ガバナー月信担当、今年度の会長・幹事、次年度幹事の８名にて会議を行いました。

冒頭、小船井パストガバナーより、今後のオンライン会議の重要性、国際ロータリーからも、2020年の間はオンライン会議を奨励している旨の説明がなされ、また吉田ガバナーからも、少人数の会議や打ち合わせなどでもいいので、まずはオンライン会議を開催してみることの重要性をお話しいただき、それぞれにオンライン会議の必要性について、和気藹々と楽しく意見が交わされました。

やはりオンライン例会の必要性は個々に十分理解されていても、実際に導入する場合の問題点、ネット環境のない会員の対応などオンライン例会となるといくつかの問題があり、今後に向けて早急に議論し、対応していく必要があると実感できました。

今回初めてクラブとしてZoom会議を体験して、やはり手軽に会議ができ、移動の時間や会場の費用も必要なく、なにより通信機器さえあれば何処にいても参加が可能という素晴らしいメリットを実感できました。

今後コロナウイルスの影響が収束したとしても、オンラインによる会議や例会は今後も活用されていくのだろうと、強く実感できる懇親会になりました。

ロータリークラブ、ロータリアンなら全員がZoom費用20％割引の特典などもありますので、まだ体験されていないクラブは、ぜひZoom会議やZoomによる例会など、いろいろとチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

2020−2021年度 地区研修・協議会

2020−2021年度
国際ロータリー第2500地区
地区幹事 **軽　米　達　也**
（富良野ロータリークラブ）

開催日時：2020年４月19日
富良野　オンライン形式

2020－2021年度RI第2500地区の地区研修・協議会は４月19日にPETS同様に新型コロナの影響によりオンライン形式での開催となりました。今年度は当初より例年と違いPETSと地区研修・協議会を別の日程で開催する予定でした。初のオンライン形式での開催ということもあり、参加者数においても心配がありましたが、例年同様のご登録を頂きました。違った形での開催となりましたが、当初の目的を予定の日程で開催できた事は安堵しております。誠にありがとうございました。

本会議においてホルガー・クナーク会長のメッセージビデオの紹介。松田ガバナーエレクトより地区テーマ「ランクアップしましょう」と地区活動方針９項目の詳細な説明がありました。また渡辺喜代美会員増強委員長より会員増強拡大セミナー、木下正明公共イメージ向上委員長よりセミナーを実施し本会議を終了いたしました。分科会においては５つに分かれて、オンライン及び書面での開催となりました。以上ご報告とさせて頂きます。

2019−20年度国際ロータリー第2500地区
米山記念奨学会運営委員会懇談会

開催日時：2020年６月13日（土）17：30～
会　　場：釧路センチュリーキャッスルホテル

次　　第

１．開　会
２．懇　談
（1）公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の組織変更について
（2）地区米山記念奨学会の現状について
（3）地区米山記念奨学会の運営について
ⅰ）ガバナー（ガバナー事務所）・地区事務所・地区委員会の役割
ⅱ）地区委員の選任
（4）今後の地区米山記念奨学会について
ⅰ）奨学生の選考・新規指定校の開拓
ⅱ）カウンセラー・世話クラブ・世話子クラブとの関係
３．閉　会

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.243
2020年6月12日発行

1. 奨学生からのＦＡＱ ― コロナ禍の中で ―

新型コロナウイルスによる影響で、現在、奨学生からよく聞かれる質問をご紹介します。

Q 奨学期間が始まっているのに、日本政府の入国制限（あるいは母国の出国制限）のため、いつ日本に入国できるか見通しが立たず、不安です。

現在日本以外の海外にいる新規・継続奨学生には、「出国届」の Web 登録をお願いしています。通常、出国の最大日数は 90 日としていますが、当会選考・学務委員会での協議により、7 月末までは、90 日を超える出国を認める特別措置を取ります。8 月以降の対応については、同委員会にて協議の上、決定次第お知らせします。奨学生は、海外出国中の間も、世話クラブやカウンセラー、地区米山記念奨学委員会とＥメール等で常に連絡を取るようにしてください。

Q 日本政府による『学生支援緊急給付金』は、米山奨学生も申請できますか？

この給付金は、国がコロナの影響で困窮する学生を救済するために設けた緊急支援金であることから、当会で禁止する「他の奨学金の二重受給」には当たらないと判断し、米山奨学生が所属する大学・学校へ申請し、支給対象者として選ばれた場合には「併給可」とします。ただし、生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高いことや、仕送りが月額平均 9 万円以下であることなどの支給要件がありますので、当会の奨学生が支給対象になるかどうかは、各大学・学校の判断によります。

2. 博士号取得状況

2019 学年度(19 年 4 月～20 年 3 月)に博士号を取得した奨学生・学友は 43 人、これまでの累計は 3,771 人となりました(6 月 9 日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています。名前入りの、世界にただ一つの腕時計となっており、大変好評です。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象となります
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約２週間かかります

申請方法

「学位記の写真」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。(FAX:03-3578-8281／メール:scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

3. 寄付金速報 ― 今年度は 30 日着金分まで ―

5 月までの寄付金累計額は、前年同期と比べて 4.9%減（普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:6.2%減)、約 6,300 万円の減少となりました。新型コロナウイルスによる自粛や休業・休校要請は徐々に解除されているものの、5 月単月では前年比 71%となっており、コロナ以前の状態には至っていません。こうした状況下でも、多くのロータリアンからご寄付をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6 月 30 日（火）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ご送金の際には日程に余裕を持ってお送り下さい。今年度最後のご支援をよろしくお願いいたします。

4. 学友によるマスク支援 第２報

第 2770 地区

第 2770 地区（埼玉県南東部）米山学友会が 5 月 24 日、県内にある 2 箇所の高齢者福祉施設へマスクを寄贈しました。

「介護施設などコロナの最前線で働く方々に対して、米山学友会として何かできないだろうか？」との思いから、この企画がスタート。海外在住者を含む同学友会会員から寄せられた寄付金を原資に、春日部市および越谷市の高齢者福祉施設へ計 10,500 枚のマスクを寄贈しました。同施設には毎年、地区米山奨学委員会の指導のもと、現役奨学生と学友会が慰問奉仕活動をしています。

第 2760 地区

第 2760 地区（愛知県）でも 5 月 21 日、米山奨学生・学友会と地区米山委員会が共同で、要介護高齢者の介護医療院など 5 つの施設へ計 5,000 枚のマスクを寄贈しました。「コロナウイルスに負けず、少しでも皆さんの励みになれたらとの思いを込めました」と、会長の林琼さんは語ってくださいました。

5. 2021 年台北国際大会に参加しましょう！

今年度のロータリー国際大会は、新型コロナウイルス拡大により中止となりましたが、6 月 20 日から、早くも来年 6 月 12～16 日に台北で開催される国際大会の登録がスタートします。

開会式前日の 2021 年 6 月 12 日には、昨年の「絆 in モンゴル」につづく第 3 回世界米山学友の集い「出会い in 台湾」が、台湾米山学友会の主催で開催される予定です。

そのほか、同国際大会では、米山記念奨学会がブースを出展するほか、分科会を開いてロータリー米山記念奨学事業を世界のロータリアンへ大きくＰＲする予定となっています。今月 20～26 日の期間に登録した方には特別プロモーション割引が適用されます。米山学友とともにぜひご参加ください。

▼台北国際大会についての詳細
www.riconvention.org/ja/taipei

事務局勤務体制について

【6 月の事務局開室時間】平日 10:30～16:00

6 月は、テレワークや時短・時差通勤を併用し、段階的に通常業務への移行を図ってまいります。上記時間は事務局職員が交代で出勤しており、直接電話に出て対応させていただきますが、お問い合わせの際には、引き続きＥメールも併せてご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

新入会員の紹介

●第３分区
〔旭川東ロータリークラブ〕
原田　博（はらだ　ひろし）
●管工事業
●1953年11月14日生
●2020年1月9日入会

●第３分区
〔旭川東ロータリークラブ〕
上田昌史（うえだ　まさし）
●運送業
●1968年2月7日生
●2020年1月16日入会

●第３分区
〔旭川ロータリークラブ〕
遠藤穣（えんどう　みのる）
●自動車小売業及び整備
●1963年5月9日生
●2020年2月28日入会

●第３分区
〔旭川ロータリークラブ〕
河北顕一朗（かわきた　けんいちろう）
●証券
●1973年5月26日生
●2020年2月28日入会

●第３分区
〔旭川南ロータリークラブ〕
成田直人（なりた　なおと）
●信用金庫
●1974年7月18日生
●2020年6月8日入会

●第３分区
〔旭川南ロータリークラブ〕
扇浦努（おおぎうら　つとむ）
●生命保険
●1967年6月7日生
●2020年6月8日入会

●第４分区
〔雄武ロータリークラブ〕
村岡昌信（むらおか　まさのぶ）
●信用金庫
●1968年7月14日生
●2020年4月1日入会

●第４分区
〔遠軽ロータリークラブ〕
福家貢（ふくいえ　みつぎ）
●電気通信
●1962年8月17日生
●2020年6月4日入会

●第４分区
〔遠軽ロータリークラブ〕
茶木義尚（ちゃきよしたか）
●道路維持管理
●1971年3月31日生
●2020年6月4日入会

●第４分区
〔遠軽ロータリークラブ〕
長嶋宏明（ながしまひろあき）
●総合保険
●1972年10月10日生
●2020年6月4日入会

●第６分区
〔帯広西ロータリークラブ〕
上野庸介（うえのようすけ）
●幼稚園
●1973年5月22日生
●2020年4月16日入会

●第６分区
〔帯広ロータリークラブ〕
坂野奨（さかの　すすむ）
●運輸業
●1962年6月17日生
●2020年6月3日入会

●第６分区
〔帯広ロータリークラブ〕
織茂広（おりも　ひろし）
●旅行斡旋業
●1973年5月4日生
●2020年6月3日入会

●第６分区
〔帯広ロータリークラブ〕
影山知宏（かげやま　ともひろ）
●都市銀行
●1969年8月5日生
●2020年6月3日入会

ロータリー財団寄付者

分区	寄付の種類	氏名	クラブ名	寄付月日
1	PHF	二浦東興（にうらはるおき）	豊富	2020年５月20日
1	PHF	矢田政人（やだまさと）	豊富	2020年５月20日
1	MPHF+2	石川敏（いしかわさとし）	豊富	2020年５月20日
3	PHF	飯塚達夫（いいづかたつお）	旭川M	2019年11月28日
3	PHF	坂本信一（さかもとしんいち）	旭川M	2019年11月28日
3	MPHF+5	杉野好雄（すぎのよしお）	旭川南	2020年３月10日
3	MPHF+4	森忠夫（もりただお）	旭川南	2020年３月10日
3	MPHF+4	岡田佑一（おかだゆういち）	旭川南	2020年３月10日
3	MPHF+3	猪狩正文（いがりまさふみ）	旭川南	2020年３月10日
3	MPHF+2	北野康雄（きたのやすお）	旭川南	2020年３月10日
3	MPHF+2	篠永健一（しのながけんいち）	旭川南	2020年３月10日

分区	寄付の種類	氏名	クラブ名	寄付月日
3	MPHF+3	鈴木哲（すずきさとる）	旭川東北	2020年３月12日
3	PHF	新田守（にったまもる）	旭　川	2020年５月12日
3	PHF	若井賢治（わかいけんじ）	旭　川	2020年５月12日
3	MPHF+1	鈴木敏治（すずきとしはる）	旭川東	2020年５月21日
3	MPHF+1	後藤諭一（ごとうゆういち）	旭川東	2020年５月21日
4	年次寄付	前川隆一（まえかわりゅういち）	紋別港	2019年11月19日
6	MPHF+3	竹川博之（たけかわひろゆき）	帯　広	2020年２月16日
6	MPHF+4	小枝秀則（こえだひでのり）	音　更	2020年５月14日
6	PHF	中西眞信（なかにしまさのぶ）	音　更	2020年５月14日
7	MPHF+6	濁沼英一（にごりぬまえいいち）	釧路東	2020年６月12日

米山功労者寄付者

分区	氏名	クラブ名	寄付月日	回数
2	松前衛（まつまえまもる）	名　寄	６月10日	2
3	東堂明（とうどうあきら）	旭川北	４月３日	14
3	大木康生（おおきやすお）	旭川北	４月３日	2
3	石田慶嗣（いしだけいし）	旭　川	５月12日	1

分区	氏名	クラブ名	寄付月日	回数
3	中野典一（なかののりかず）	旭　川	５月12日	1
3	新田守（にったまもる）	旭　川	５月12日	1
3	石田裕則（いしだひろのり）	旭　川	５月15日	4
3	井内治弥（いうちはるや）	旭川北	10月10日	13

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2020年５月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数 2019年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	1	53.0	14	15	1	0
	利尻	1	80.0	18	18	0	0
	利尻島	2	94.0	12	12	0	2
	天塩	0	0.0	8	11	3	2
	豊富	1	100.0	20	20	0	1
	稚内	0	0.0	46	43	－3	2
	稚内南	0	0.0	36	36	0	2
	計		46.7	154	155	1	9
2	美深	0	0.0	25	25	0	0
	枝幸	0	0.0	23	26	3	0
	名寄	0	0.0	59	61	2	2
	中頓別	2	100.0	16	15	－1	0
	士別	0	0.0	48	47	－1	1
	下川	3	72.2	4	6	2	0
	計		28.7	175	180	5	3
3	旭川	0	0.0	69	69	0	0
	旭川東	1	※	34	33	－1	0
	旭川北	1	100.0	41	44	3	1
	旭川南	0	0.0	33	32	－1	0
	旭川西	0	0.0	45	50	5	5
	旭川東北	1	※	15	15	0	2
	旭川モーニング	0	※	25	23	－2	4
	旭川空港	3	100.0	12	13	1	3
	美瑛	1	※	25	28	3	0
	富良野	0	※	46	46	0	3
	上川	3	70.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	87.0	22	20	－2	1
	計		51.0	377	383	6	19
4	遠軽	0	0.0	42	41	－1	3
	紋別	0	0.0	31	31	0	0
	紋別港	0	0.0	33	32	－1	0
	中湧別	0	0.0	10	11	1	0
	興部	0	0.0	16	15	－1	0
	雄武	0	0.0	11	13	2	0
	滝上	2	67.7	17	17	0	2
	計		9.7	160	160	0	5
5	網走	0	0.0	51	52	1	9
	網走西	0	0.0	50	52	2	0
	美幌	0	0.0	58	58	0	5
	北見	0	0.0	57	55	－2	4
	北見東	0	0.0	56	54	－2	2
	北見西	0	0.0	65	62	－3	0
	清里	0	0.0	29	30	1	0
	留辺藥	0	0.0	24	23	－1	0
	斜里	0	0.0	37	33	－4	4
	計		0.0	427	419	－8	24
6	足寄	0	0.0	30	30	0	0
	広尾	0	0.0	22	22	0	0
	上士幌	0	0.0	15	15	0	0
	芽室	0	0.0	22	27	5	1
	帯広	0	0.0	89	88	－1	6
	帯広北	0	0.0	63	65	2	2
	帯広西	0	0.0	74	75	1	3
	帯広東	0	0.0	38	37	－1	2
	帯広南	0	0.0	72	72	0	8
	音更	1	74.2	38	35	－3	3
	清水	1	82.4	18	18	0	2
	計		14.2	481	484	3	27
7	釧路	0	0.0	95	100	5	1
	釧路東	1	50.0	33	34	1	0
	釧路北	3	100.0	77	78	1	3
	釧路南	0	0.0	29	30	1	6
	釧路西	1	45.0	28	27	－1	1
	釧路ベイ	0	0.0	20	20	0	1
	音別	0	0.0	16	16	0	0
	白糠	4	67.5	10	10	0	0
	計		32.8	308	315	7	12
8	厚岸	3	70.6	16	17	1	0
	別海	0	0.0	17	17	0	0
	浜中	1	83.3	12	12	0	0
	中標津	0	0.0	21	21	0	0
	根室	0	0.0	38	37	－1	0
	根室西	0	0.0	50	53	3	0
	弟子屈	3	78.6	18	18	0	1
	計		33.2	172	175	3	1
総計			27.0	2254	2271	17	100

※印　メーキャップの規約改定により提出のないクラブです

第2500地区	19年7/1会員数	当月末会員数	増減	平均出席率
全67クラブ	2,254人	2,271人	17人	27.0%
女性会員数	98人	100人	2人	

★釧路北ＲＣはＷＥＢ例会.
★旭川空港ＲＣはコロナウイルスの影響により、ＦＡＸ例会となりました。

Rotary

http://rid2500.jp

■ガバナー事務所

〒085-0016　北海道釧路市錦町５丁目３
三ツ輪ビル２Ｆ
TEL 0154-61-0018　FAX 0154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

■GOVERNOR OFFICE

MITSUWA BLDG.2F　5-3,Nishiki-cho,Kushiro-shi,
Hokkaido,085-0016, Japan
TEL +81-154-61-0018　FAX +81-154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

道東の初夏を彩る野花
（左上から、エゾカンゾウ、ヒオウギアヤメ・ハマナス・エゾスカシユリ）

国際ロータリー第 2500 地区
2019▶2020　ガバナー

吉田　潤司